

2018年4月から2021年3月の間に当院で脳卒中や脳神経外科関連疾患の
治療を受けられた、または、受けられる患者さんへのお願い

当院では、「脳卒中、脳神経外科医療疫学調査」に参加協力しています。

研究の目的

超高齢化社会の本邦において、後遺障害による寝たきりの原因となる脳卒中の救急治療は大きな課題となっています。高齢者医療費の最大の原因である脳卒中の患者数は今後も更に増加し、2020年には300万人に達すると予想されています。緊急性の高い脳卒中治療については、医療機関の連携強化が重要となりますが、地域特性に応じた整備の為には、全国的な規模での地域毎の実態を調査することが必要です。

本研究では本邦の脳卒中施設の施設情報と、診療の質的評価・治療成績・予後との関連を調査し、その適正な配置について提言を行うことが目的です。

対象となる方と内容

2018年4月1日から2021年3月31日の間に当院にて脳卒中および脳神経外科関連疾患の治療を受けた患者様のレセプト情報です。

研究の方法

全国の脳卒中施設の病名や診療行為の明細が含まれたデータ（以下、DPC データとする）の中から、脳卒中に関わった患者さんを選びます。そして、患者さんの疾患名、治療内容、治療成績や予後などについての情報を得ます。そしてそれらの情報と、施設の情報（ベッド数、医師数、施設の場所など）の関連性を調べます。この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。また提供するデータは、提供前に個人を特定できない形にて提供しますので、患者さんの個人のプライバシーは完全に保護されます。

利用する者の範囲

研究責任者：飯原 弘二
九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科

提供データ

2018年4月から2019年3月までのDPCデータのうち、
脳卒中および脳神経外科治療に関連する疾患症例に該当するもの

情報の管理についての責任者

総合病院水島協同病院 院長 里見和彦

※尚、対象者となることを希望されない場合は、拒否していただくことができます。希望されない方、相談等のある方は、患者サポート相談窓口までお問い合わせください。